

資料第1054号

平成 17 年 度

学 校 基 本 調 査 結 果 報 告

広 島 県

# 利 用 者 の た め に

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

### (2) 調査の期日

平成 17 年 5 月 1 日

### (3) 調査の対象

公立・私立の小学校，中学校，高等学校，盲学校，ろう学校，養護学校，幼稚園，専修学校，各種学校及び市町の教育委員会（注：国立の学校及び幼稚園は，文部科学省の直接調査となっている。）

### (4) 調査票の種類と主な調査事項

ア 学校調査……………学校数，学級数，園児・児童・生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業者数等。

イ 学校通信教育調査……………学校数，生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業者数等。

ウ 卒業後の状況調査……………中学校，高等学校全日制・定時制課程，盲学校・ろう学校・養護学校については平成 17 年 3 月卒業者（年度途中（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）に卒業を認められた者も含む。）の 5 月 1 日現在の進路状況。高等学校通信制課程については，平成 16 年度間卒業者の 5 月 1 日現在の進路状況。（高等学校通信制についてのこの調査事項は，昭和 61 年度に新設された。）

なお，この調査における中学校又は高等学校卒業者の高等学校又は大学等への「入学志願者数」には，高等学校の通信制課程，大学及び短期大学の通信教育部並びに放送大学への入学志願者は含まれていないので，利用に当たっては注意が必要である。

エ 不就学学齢児童生徒調査…就学免除者数，就学猶予者数，1 年以上居所不明者数及び学齢児童生徒死亡者数等。

オ 学校施設調査……………土地又は建物の用途別及び構造別等の面積並びに増減の状況。

## 2 報告書の内容及び資料

(1) この報告書には，「学校調査」，「学校通信教育調査」，「卒業後の状況調査」，「不就学学齢児童生徒調査」及び「学校施設調査」の結果の一部を収録している。

(2) 平成 16 年度以前の数値は，原則として，文部科学省「学校基本調査報告書」による。

ただし，この報告書に掲載されていない数値は，県集計表，国立学校の資料による。

(3) 本年度の数値は，県集計表，国立学校の資料及び文部科学省「平成 17 年度学校基本調査速報」による。

(4) 本年度の数値は，県で集計した結果であり，文部科学省刊行の「平成 17 年度学校基本調査報告書」の数値を確定数とする。

### 3 用語の説明等

(1) この調査における用語の説明は、次に掲げるほか、必要に応じてそれぞれの表に脚注として掲げた。

- ア 「75条の学級」……学校教育法第75条第1項に該当する児童生徒（知的障害、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、情緒障害）で編成されている学級をいう。
- イ 「長期欠席者」……平成16年4月1日から平成17年3月31日までの1年間に連続又は断続して、30日以上欠席した児童生徒をいう。  
ただし、平成16年4月1日現在で15歳以上の者については、1年間にわたり居所が不明又は全く出席しなかった場合は除く。
- ウ 「帰国児童・生徒」……海外勤務者等の児童・生徒で、引き続き1年を超える期間海外に在留し、平成16年4月1日から平成17年3月31日までの間に帰国した児童・生徒をいう。
- エ 「外国人」……日本の国籍を持たない者をいう。日本と外国の両方に国籍を有する者は日本人とする。
- オ 「教員数(本務者)、職員数(本務者)」……本務・兼務の区別は原則として辞令面による。本務者には、休職者及び産休者及び育児休業者並びに産休代替者及び育児休業代替者を含める。
- カ 「負担法による者(公立のみ)」……小・中学校において、公立学校の職員で、「市町立学校職員給与負担法」による者をいう。盲学校・ろう学校・養護学校においては、都道府県費負担に係る都道府県立学校の職員及び「市町立学校職員給与負担法による職員」をいう。
- キ 「市町費支弁の教員」……市町立学校で、市町が任命して給与を負担している者をいう。
- ク 「指導主事」……地方教育行政の組織及び運営に関する法律第19条第4項後段の規定により、指導主事に充てられた者をいう。
- ケ 「教育委員会事務局・学校に籍はあるが、教育委員会事務局・教育研究所・公民館・図書館・等勤務者・その他」……学校に籍はあるが、教育委員会事務局・教育研究所・公民館・図書館・理科センター等に専ら勤務する者、国立大学附属学校へ派遣されている者をいう。
- コ 「留学者・海外日本人学校派遣者」……「留学者」とは、国内又は外国の大学・教育研究所へ研修のため6カ月以上継続して派遣されている者をいい、「海外日本人学校派遣者」とは、長期研修出張の扱いで文部科学省の委嘱により、在外の日本人学校又は補習授業校に派遣されている者をいう。
- サ 「併置校」……高等学校において、「全日制」、「定時制」、「通信制」のうちいずれか2課程以上を設置している学校をいう。
- シ 「高等学校等進学者」……高等学校の本科(全日制、定時制及び通信制)及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、盲学校・ろう学校・養護学校高等部の本科及び別科に進学した者をいう。
- ス 「大学等進学者」……大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び盲学校・ろう学校・養護学校高等部(専攻科)に進学した者をいう。
- セ 「専修学校等入学者」……専修学校、各種学校(予備校等)又は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。ただし、進学しながら専修学校等に通学している者は「進学者」としてはいる。
- ソ 「就職者」……給料、賃金、利潤、報酬その他経常的収入を得る仕事に就いた者をいう。  
(自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝いや臨時的な仕事に就いた者は含めない。)就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者は、それぞれ、「進学者」、「専修学校等入学者」に含めるとともに、就職率の算出及び就職先の産業別・職業別等就職者数にも含める。
- タ 「一時的な仕事に就いた者」……臨時的な収入を目的とする仕事(アルバイト・パート等)に就いた者をいう。平成16年度から調査を開始。

チ 「進学率」 ……………卒業生総数のうち進学者（就職しながら進学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{進学率} = \frac{\text{進学者（就職進学者を含む。）}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

ツ 「入学率」 ……………入学志願者のうち進学者の割合で、次の式により算出する。

$$\text{入学率} = \frac{\text{進学者}}{\text{入学志願者}} \times 100$$

テ 「専修学校等……………卒業生総数のうち専修学校等入学者（就職しながら専修学校等に入学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{専修学校等入学率} = \frac{\text{専修学校等入学者（就職専修学校等入学者を含む。）}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

ト 「就職率」 ……………卒業生総数のうち就職者（就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者+Aのうち就職者+Bのうち就職者}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

※A=進学者      B=専修学校等入学者

ナ 「就園率」 ……………本年度小学校第1学年児童数に対する本年3月幼稚園修了者数の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就園率} = \frac{\text{幼稚園修了者数（幼稚園調査）}}{\text{小学校1年生の児童総数（小学校調査）}} \times 100$$

ニ 「専修学校」 ……………学校教育法第1条の学校以外で、職業や實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う教育施設（学校教育法第82条の2）をいう。修業年限は1年以上で、常時40人以上を対象として年間800時間以上の授業を行うものとされているほか、教員資格、教員数、校舎面積などについて専修学校設置基準（昭和51年文部省令第2号）を満たし、認可を受けたものをいう。

ヌ 「各種学校」 ……………学校教育法第1条の学校及び専修学校以外の学校教育に類する教育を行う教育施設（学校教育法第83条第1項）で、年間授業時数、教員数、校舎面積などについて各種学校規程（昭和31年文部省令）の基準を満たし、認可を受けたものをいう。

(2) 統計表中の記号は次のとおりである。

「—」 ……………該当数値のないもの。

「…」 ……………数値不詳のもの。

「0.0」 ……………数値が単位未満のもの。

「△」 ……………負数又は減少を示す。

(3) 統計表の中には、四捨五入の関係で総計（合計）と内訳が一致しない場合があります。

(4) この報告書についての問い合わせ先

広島県地域振興部管理総室生活統計室 消費経済・教育統計グループ

〒730-8511 広島市中区基町10-52 電話 (082) 513-2534 (ダイヤル)

FAX (082) 211-3575

また、この内容については次のインターネットでも情報提供していますので、御利用ください。  
広島県統計ホームページ「広島の統計」 アドレス番号 <http://db1.pref.hiroshima.jp/toukei/>

# 結果の概要

## I 概況

平成 17 年 5 月 1 日現在で実施した学校基本調査（大学，短期大学，高等専門学校を除く。）の結果の概要は次のとおりである。

### 1 小学校 児童数は過去最低，第二次ピーク時（昭和 57 年度）の 58.2%

- (1) 児童数は 166,217 人，前年度より 0.2%（365 人）減少した。昭和 58 年度以降連続して減少し過去最低となった。
- (2) 不登校児童数は 718 人，前年度間より 11.8%（96 人）減少した。

### 2 中学校 生徒数は過去最低，第二次ピーク時（昭和 62 年度）の 57.4%

- (1) 生徒数は 83,504 人，前年度より 1.3%（1,139 人）減少した。昭和 63 年度以降連続して減少し過去最低となった。
- (2) 高等学校等への進学率は 97.5%，前年度より 0.3 ポイント上昇した。
- (3) 就職率は 0.6%，前年度より 0.1 ポイント減少した。
- (4) 不登校生徒数は 2,642 人，前年度間より 7.9%（226 人）減少した。

### 3 高等学校 生徒数は第二次ピーク時（平成 2 年度）の 61.9%

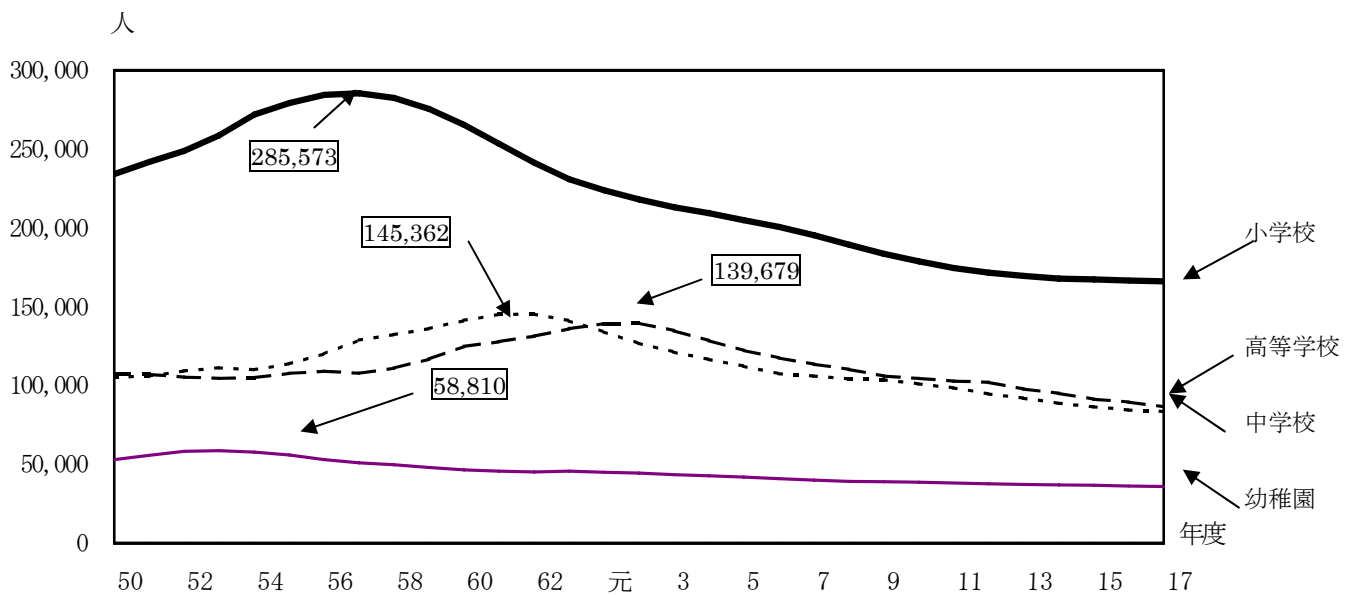
#### 進学率は過去最高，8 年連続して 5 割を超える

- (1) 生徒数は 86,456 人，前年度より 3.4%（3,059 人）減少した。平成 3 年度以降連続して減少している。
- (2) 大学等への進学率は 53.6%，前年度より 2.3 ポイント上昇し，過去最高となった。
- (3) 就職率は 13.1%，前年度より 0.4 ポイント減少した。

#### 4 盲学校・ろう学校・養護学校，幼稚園，専修学校，各種学校

- (1) 盲学校の在学者数は78人，前年度より13.0%（9人）増加した。
- (2) ろう学校の在学者数は101人，前年度より3.1%（3人）増加した。
- (3) 養護学校の在学者数は1,346人，前年度より5.3%（68人）増加した。
- (4) 幼稚園の園児数は35,977人，前年度より0.7%（259人）減少した。平成元年度以降連続して減少している。
- (5) 専修学校の生徒数は16,521人，前年度より2.3%（394人）減少した。
- (6) 各種学校の生徒数は3,131人，前年度より4.8%（158人）減少した。

図1 児童・生徒・園児数の推移（昭和50年度～）



注) □内は，第二次ピーク時の児童・生徒・園児数である。

## Ⅱ 学 校 調 査

### 1 小 学 校

#### (1) 学 校 数

ア 学校数は613校（本校610校，分校3校）である。（表1）

イ 設置者別では，国立3校，公立603校（うち休校中は本校19校，分校2校），私立7校（うち休校中は1校（本校））である。（表1）

ウ へき地等指定（公立のみ）の学校数は82校（うち分校は3校）である。（表1）

エ 75条の学級のある学校数は402校（65.6%）である。（表1）

表1 学校数・学級数 — 小学校 —

（単位：校，学級）

区 分	学 校 数			へき地等指定 のある学校 (公立のみ)	75条学級 のある 学 校	学 級 数			
	総 数	本 校	分 校			総 数	単 式	複 式	75 条
昭和 40 年度	709	656	53	90	156	6,629	6,128	331	170
50	657	635	22	132	248	7,516	6,825	347	344
60	693	679	14	120	284	8,268	7,539	353	376
平成 7	675	667	8	131	243	7,182	6,517	311	354
8	671	663	8	129	260	7,039	6,349	317	373
9	667	659	8	124	267	6,921	6,223	308	390
10	665	658	7	122	278	6,808	6,091	310	407
11	663	656	7	122	282	6,698	5,951	322	425
12	659	652	7	119	289	6,616	5,860	318	438
13	658	651	7	111	311	6,639	5,871	306	462
14	647	640	7	100	338	6,638	5,857	285	496
15	637	631	6	95	366	6,648	5,822	266	560
16	624	621	3	91	385	6,638	5,758	261	619
17	<b>613</b>	<b>610</b>	<b>3</b>	<b>82</b>	<b>402</b>	<b>6,620</b>	<b>5,695</b>	<b>259</b>	<b>666</b>
国 立	3	3	—	—	1	42	36	3	3
公 立	603	600	3	82	401	6,528	5,611	254	663
私 立	7	7	—	—	—	50	48	2	—

オ 児童数別学校数では、児童数 1～99 人の学校が 206 校（33.6%）と最も多く、児童数 1,000 人を超える学校は 5 校である。

1 校当たりの児童数は 281 人で、最も多いのは広島市の 477 人である。（表 2， 3）

表 2 児童数別学校数 — 小学校 —

（単位：校，人）

区 分	学 校 総 数	0人	1～ 99人	100～ 299人	300～ 499人	500～ 999人	1,000～ 1,499人	1,500人 以上	1校当たり 児 童 数
昭和 40 年度	709	1	194	285	106	83	30	10	306
50	657	9	221	181	67	111	58	10	361
60	693	8	202	167	90	169	54	3	387
平成 7	675	15	233	162	115	142	8	—	296
8	671	14	233	162	118	137	7	—	288
9	667	15	233	165	119	128	7	—	282
10	665	17	237	159	120	125	7	—	276
11	663	19	238	160	115	126	5	—	271
12	659	19	238	155	125	118	4	—	268
13	658	23	239	152	126	115	3	—	267
14	647	23	229	155	117	118	5	—	269
15	637	26	215	162	109	120	5	—	274
16	624	23	208	159	108	122	4	—	277
17	613	22	206	156	108	116	5	—	281

注) 1 0人とは休校中の学校である。

2 1校当たり児童数の算出式は次のとおりである。

1校当たり児童数＝児童総数／（学校総数－休校中の学校数）

表 3 1校当たり児童数 — 小学校 —

（単位：人）

市 郡	1校当た り児童数	市 郡	1校当た り児童数	市 郡	1校当た り児童数
総 数	281	府 中 市	172	安 芸 郡	450
		三 次 市	114	佐 伯 郡	510
広 島 市	477	庄 原 市	65	山 県 郡	54
呉 市	233	大 竹 市	200	豊 田 郡	113
竹 原 市	167	東広島市	308	世 羅 郡	95
三 原 市	168	廿日市市	340	深 安 郡	398
尾 道 市	245	安芸高田市	129	神 石 郡	76
因 島 市	159	江田島市	76		
福 山 市	341				

注) 市郡別の休校数（広島市1, 呉市2, 福山市1, 庄原市11, 東広島市1, 山県郡5, 深安郡1）は母数より除く。



## (2) 学級数

ア 学級数は6,620学級で、前年度より18学級(0.3%)減少した。

学級種別では、単式学級5,695学級(1.1%減)、複式学級259学級(0.8%減)、75条の学級666学級(7.6%増)である。(表1)

イ 収容人員別学級数では、児童数31~35人の学級が1,807学級(27.3%)と最も多く、児童数36人以上の学級は1,036学級で、前年度より18学級(1.8%)増加した。(表4)

表4 収容人員別学級数 — 小学校 —

(単位：学級，%)

区分	学級総数	1~20人	21~25人	26~30人	31~35人	36~40人	41~45人	46人以上
昭和40年度	6,629	1,094	572	805	857	1,312	1,527	462
50	7,516	1,548	490	544	1,109	2,140	1,683	2
60	8,268	1,401	470	574	1,326	2,638	1,856	3
平成7	7,182	1,636	573	1,195	2,218	1,551	9	—
8	7,039	1,652	603	1,224	2,051	1,505	4	—
9	6,921	1,672	611	1,316	1,909	1,404	9	—
10	6,808	1,697	611	1,263	1,873	1,355	9	—
11	6,698	1,685	634	1,257	1,822	1,293	7	—
12	6,616	1,718	599	1,165	1,875	1,253	6	—
13	6,639	1,748	599	1,375	1,829	1,080	8	—
14	6,638	1,761	603	1,445	1,862	959	8	—
15	6,648	1,768	606	1,493	1,790	979	5	7
16	6,638	1,791	590	1,457	1,782	1,007	10	1
17	<b>6,620</b>	<b>1,784</b>	<b>602</b>	<b>1,391</b>	<b>1,807</b>	<b>1,029</b>	<b>7</b>	—
国立	42	6	—	—	—	36	—	—
公立	6,528	1,773	598	1,381	1,797	976	3	—
私立	50	5	4	10	10	17	4	—
(構成比)								
昭和40年度	100.0	16.5	8.6	12.1	12.9	19.8	23.0	7.0
50	100.0	20.6	6.5	7.2	14.8	28.5	22.4	0.0
60	100.0	16.9	5.7	6.9	16.0	31.9	22.4	0.0
平成7	100.0	22.8	8.0	16.6	30.9	21.6	0.1	—
8	100.0	23.5	8.6	17.4	29.1	21.4	0.1	—
9	100.0	24.2	8.8	19.0	27.6	20.3	0.1	—
10	100.0	24.9	9.0	18.6	27.5	19.9	0.1	—
11	100.0	26.0	9.1	17.6	28.3	18.9	0.1	—
12	100.0	26.3	9.0	20.7	27.5	16.3	0.1	—
13	100.0	26.3	9.0	20.7	27.5	16.3	0.1	—
14	100.0	26.5	9.1	21.8	28.1	14.4	0.1	—
15	100.0	26.6	9.1	22.5	26.9	14.7	0.1	0.1
16	100.0	27.0	8.9	21.9	26.8	15.2	0.2	0.0
17	<b>100.0</b>	<b>26.9</b>	<b>9.1</b>	<b>21.0</b>	<b>27.3</b>	<b>15.5</b>	<b>0.1</b>	—

注) 昭和40年度には国立は含まれていない。

### (3) 児童数

ア 児童数は166,217人で、前年度より365人(0.2%)減少し、昭和58年度以降連続して減少している。(表5)

イ 5年前(平成12年度)と比較すると、県全体では3.2%減少している。

市郡別で増加しているのは佐伯郡(6.8%増)、深安郡(4.0%増)、広島市(0.4%増)及び安芸郡(0.1%増)で、他の市郡は減少している。

減少の割合が特に大きいのは因島市(20.9%減)、江田島市(19.5%減)、神石郡(18.8%減)及び豊田郡(18.7%減)等である。(表6)

ウ 学年別では、1学年27,638人、2学年27,587人、3学年27,677人、4学年27,360人、5学年28,263人、6学年27,692人である。(統計表4)

エ 男女別では、男子85,067人、女子81,150人で、男子が女子を3,917人上回っている。(表5)

オ 帰国児童数(平成16年度間)は67人、外国人児童数は720人である。(表5)

カ 長期欠席者数(平成16年度間)は1,400人で、前年度間より89人(6.0%)減少した。(表5)

理由別では、病気476人(34.0%)、経済的理由0人(0.0%)、不登校718人(51.3%)、その他206人(14.7%)である。(表7)

不登校児童数の全児童数に占める割合は0.43%(全国0.32%)で、前年度間より0.06ポイント減少した。(表8)

表5 児童数 — 小学校 —

(単位：人)

区分	総数	性別		学級種類別			長期欠席者数30日以上	帰国児童数	外国人児童数
		男	女	単式	複式	75条			
昭和40年度	216,343	110,728	105,615	208,242	5,206	1,398			1,586
50	234,239	120,094	114,145	228,763	3,583	1,893			1,050
60	265,418	135,809	129,609	260,154	3,538	1,726		61	1,263
平成7	195,456	100,285	95,171	191,583	2,782	1,091	1,461	125	1,165
8	189,478	97,305	92,173	185,535	2,870	1,073	1,468	107	1,092
9	183,674	94,079	89,595	179,788	2,762	1,124	1,671	108	1,030
10	178,865	91,680	87,185	175,047	2,713	1,105	1,823	130	1,067
11	174,660	89,579	85,081	170,680	2,853	1,127	1,614	140	984
12	171,761	88,078	83,683	167,802	2,789	1,170	1,704	121	894
13	169,732	87,177	82,555	165,782	2,693	1,257	1,592	92	846
14	167,861	85,941	81,920	164,136	2,408	1,317	1,729	64	797
15	167,347	85,847	81,500	163,602	2,316	1,429	1,549	84	763
16	166,582	85,164	81,418	162,767	2,272	1,543	1,489	84	725
17	166,217	85,067	81,150	162,211	2,280	1,726	1,400	67	720
国立	1,439	721	718	1,380	45	14	5	—	5
公立	163,205	83,674	79,531	159,278	2,215	1,712	1,384	65	713
私立	1,573	672	901	1,553	20	—	11	2	2

注) 1 昭和40年度の学級種類別児童数には国立は含まれていない。

2 長期欠席者数は前年度間に30日以上欠席した児童の数である。

なお、平成2年度間以前の30日以上欠席者数については調査していない。

3 帰国児童数の調査は昭和53年度から調査している。

表6 児童数の増減率 — 小学校 —

(単位：%)

市 郡	増 減 率 (対12年度)	市 郡	増 減 率 (対12年度)	市 郡	増 減 率 (対12年度)
総 数	△ 3.2	府中市	△ 10.7	安芸郡	0.1
		三次市	△ 14.4	佐伯郡	6.8
広島市	0.4	庄原市	△ 18.4	山県郡	△ 12.0
呉 市	△ 4.2	大竹市	△ 12.7	豊田郡	△ 18.7
竹原市	△ 5.4	東広島市	△ 2.3	世羅郡	△ 17.7
三原市	△ 8.6	廿日市市	△ 11.5	深安郡	4.0
尾道市	△ 5.6	安芸高田市	△ 11.1	神石郡	△ 18.8
因島市	△ 20.9	江田島市	△ 19.5		
福山市	△ 1.9				

注) 増減率は、平成12年度の市郡の児童数に平成17年5月1日以前に合併した市郡の児童数を加除して算出した児童数と、平成17年度の児童数を比較したものである。

表7 理由別長期欠席者数 — 小学校 —

(単位：人，%)

区 分	総 数	病 気 (構成比)	経済的理由 (構成比)	不 登 校 (構成比)	そ の 他 (構成比)
平成 12 年度間	1,592	671 (42.1)	3 (0.2)	797 (50.1)	121 (7.6)
13	1,729	750 (43.4)	9 (0.5)	801 (46.3)	169 (9.8)
14	1,549	536 (34.6)	2 (0.1)	821 (53.0)	190 (12.3)
15	1,489	495 (33.2)	3 (0.2)	814 (54.7)	177 (11.9)
16	1,400	476 (34.0)	- 0.0	718 (51.3)	206 (14.7)

表8 不登校児童数の全児童数に  
占める割合 — 小学校 —

(単位：%)

区 分	広島県	全 国
平成 12 年度間	0.46	0.36
13	0.47	0.36
14	0.49	0.36
15	0.49	0.33
16	0.43	0.32

注) 不登校児童数の全児童数に占める割合  
= 不登校児童数 / 当該年度の5月1日現在児童数 × 100

(4) 教員数

- ア 教員数(本務者)は9,796人で、前年度より62人(0.6%)減少した。(表9)  
 イ 女子教員の占める割合は67.4%(全国62.7%)で、前年度と同じであった。(表9)  
 ウ 本務教員1人当たりの児童数は17.0人(全国17.3人)で、前年度より0.1人増加した。(表9)

表9 教員数(本務者) — 小学校 —

(単位:人,%)

区分	総数	男	女	女子教員の割合 ( )は全国	教員1人当たりの児童数 ( )は全国
昭和 40年度	8,265	4,278	3,987	48.2(48.4)	26.2(28.3)
50	9,872	4,127	5,745	58.2(54.8)	23.7(25.0)
60	11,541	4,346	7,195	62.3(56.0)	23.0(24.1)
平成 7	10,692	3,520	7,172	67.1(61.2)	18.3(19.4)
8	10,548	3,450	7,098	67.3(61.6)	18.0(19.0)
9	10,506	3,407	7,099	67.6(62.0)	17.5(18.7)
10	10,322	3,357	6,965	67.5(62.2)	17.3(18.4)
11	10,201	3,320	6,881	67.5(62.3)	17.1(18.2)
12	10,104	3,300	6,804	67.3(62.3)	17.0(18.1)
13	10,007	3,270	6,737	67.3(62.5)	17.0(17.9)
14	9,951	3,256	6,695	67.3(62.6)	16.9(17.6)
15	10,005	3,252	6,753	67.5(62.7)	16.7(17.5)
16	9,858	3,218	6,640	67.4(62.7)	16.9(17.4)
17	<b>9,796</b>	<b>3,191</b>	<b>6,605</b>	<b>67.4(62.7)</b>	<b>17.0(17.3)</b>
国立	64	43	21	32.8(29.5)	22.5(26.6)
公立	9,654	3,110	6,544	67.8(63.0)	16.9(17.2)
私立	78	38	40	51.3(49.7)	20.2(19.7)

## 2 中 学 校

### (1) 学 校 数

- ア 学校数は286校(すべて本校)である。(表10)
- イ 設置者別では、国立4校、公立255校(うち休校中は4校)、私立27校(うち休校中は5校)である。(表10)
- ウ へき地指定の学校数(公立のみ)は24校である。(表10)
- エ 75条の学級のある学校数は173校(60.5%)である。(表10)
- オ 生徒数別学校数では、生徒数100~299人の学校が92校(32.2%)と最も多い。(表11)

表10 学校数・学級数 — 中学校 —

(単位：校，学級)

区 分	学 校 数			へき地等指定 のある学校 (公立のみ)	75条学級 の 有 る 学 校	学 級 数			
	総 数	本 校	分 校			総 数	単 式	複 式	75 条
昭和 40 年度	294	276	18	23	112	3,319	3,177	12	130
50	248	247	1	24	160	2,917	2,704	—	213
60	268	268	—	19	167	3,713	3,499	2	212
平成 7	282	282	—	28	141	3,202	3,003	—	199
8	282	282	—	27	143	3,166	2,963	1	202
9	284	284	—	27	142	3,169	2,962	—	207
10	284	284	—	27	140	3,116	2,906	—	210
11	285	285	—	27	138	3,046	2,830	—	216
12	284	284	—	25	140	2,964	2,748	—	216
13	285	285	—	25	140	2,899	2,682	—	217
14	285	285	—	25	157	2,855	2,606	—	249
15	286	286	—	25	167	2,800	2,537	—	263
16	287	287	—	25	172	2,774	2,494	—	280
17	<b>286</b>	<b>286</b>	—	<b>24</b>	<b>173</b>	<b>2,744</b>	<b>2,460</b>	—	<b>284</b>
国 立	4	4	—	—	1	33	30	—	3
公 立	255	255	—	24	172	2,489	2,208	—	281
私 立	27	27	—	—	—	222	222	—	—

注) 昭和40年度の75条の学級のある学校には国立は含まれていない。

表 1 1 生徒数別学校数 — 中学校 —

(単位：校、人)

区 分	学 校 総 数	0人	1～ 99人	100～ 299人	300～ 499人	500～ 999人	1,000～ 1,499人	1,500人 以上	1校当たり 生 徒 数
昭和 40 年度	294	7	24	101	68	69	18	7	448
50	248	9	30	74	55	58	17	5	441
60	268	6	31	65	40	83	42	1	539
平成 7	282	5	40	72	75	90	—	—	383
8	282	5	40	76	75	86	—	—	384
9	284	6	40	79	73	84	2	—	373
10	284	7	42	81	73	80	1	—	365
11	285	7	47	82	71	77	1	—	354
12	284	7	46	88	69	73	1	—	343
13	285	7	51	85	74	67	1	—	331
14	285	7	52	87	74	64	1	—	320
15	286	8	56	89	73	60	—	—	312
16	287	7	59	92	71	58	—	—	302
17	<b>286</b>	<b>9</b>	<b>57</b>	<b>92</b>	<b>73</b>	<b>55</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>301</b>

注) 1 0人とは休校中の学校である。

2 1校当たり生徒数の算出式は次のとおりである。

1校当たり生徒数=生徒総数／(学校総数-休校中等の学校数)

## (2) 学級数

ア 学級数は2,744学級で、前年度より30学級(1.1%)減少した。

学級種類別では、単式学級2,460学級(1.4%減)、75条の学級284学級(1.4%増)である。

(表10)

イ 収容人員別学級数では、生徒数36~40人の学級が942学級(34.3%)と最も多く、生徒数41人以上の学級は126学級で、前年度より9学級(7.7%)増加した。(表12)

表12 収容人員別学級数 — 中学校 —

(単位：学級，%)

区 分	学 級 総 数	1~ 20人	21~ 25人	26~ 30人	31~ 35人	36~ 40人	41~ 45人	46人 以上
昭和 40年度	3,319	176	50	133	283	625	1,364	688
50	2,917	253	96	112	370	799	1,207	80
60	3,713	254	75	120	179	976	2,020	89
平成 7	3,202	265	120	230	851	1,605	75	56
8	3,166	276	139	210	807	1,616	69	49
9	3,169	284	134	214	908	1,513	68	48
10	3,116	295	135	225	954	1,397	59	51
11	3,046	312	113	186	973	1,346	65	51
12	2,964	317	121	209	959	1,248	63	47
13	2,899	319	129	212	953	1,178	62	46
14	2,855	362	145	198	910	1,132	62	46
15	2,800	377	136	216	829	1,129	71	42
16	2,774	409	126	230	882	1,010	79	38
17	<b>2,744</b>	<b>402</b>	<b>126</b>	<b>224</b>	<b>924</b>	<b>942</b>	<b>92</b>	<b>34</b>
国 立	33	3	—	—	—	18	12	—
公 立	2,489	388	109	201	905	885	1	—
私 立	222	11	17	23	19	39	79	34
(構成比)								
昭和 40年度	100.0	5.3	1.5	4.0	8.5	18.8	41.1	20.7
50	100.0	8.7	3.3	3.8	12.7	27.4	41.4	2.7
60	100.0	6.8	2.0	3.2	4.8	26.3	54.4	2.4
平成 7	100.0	8.3	3.7	7.2	26.6	50.1	2.3	1.7
8	100.0	8.7	4.4	6.6	25.5	51.0	2.2	1.5
9	100.0	9.0	4.2	6.8	28.7	47.7	2.1	1.5
10	100.0	9.5	4.3	7.2	30.6	44.8	1.9	1.6
11	100.0	10.2	3.7	6.1	31.9	44.2	2.1	1.7
12	100.0	10.7	4.1	7.1	32.4	42.1	2.1	1.6
13	100.0	11.0	4.4	7.3	32.9	40.6	2.1	1.6
14	100.0	12.7	5.1	6.9	31.9	39.6	2.2	1.6
15	100.0	13.5	4.9	7.7	29.6	40.3	2.5	1.5
16	100.0	14.7	4.5	8.3	31.8	36.4	2.8	1.4
17	<b>100.0</b>	<b>14.7</b>	<b>4.6</b>	<b>8.2</b>	<b>33.7</b>	<b>34.3</b>	<b>3.4</b>	<b>1.2</b>

### (3) 生徒数

ア 生徒数は83,504人で、前年度より1,139人(1.3%)減少し、昭和63年度以降連続して減少している。(表13)

イ 5年前(平成12年度)と比較すると、県全体で12.0%減少している。

市郡別で増加しているのは東広島市(1.1%増)のみで、他の市郡は減少している。

減少の割合が特に大きいのは豊田郡(24.9%減)、因島市(24.4%減)、神石郡(24.1%減)等である。(表14)

ウ 学年別では、1学年27,605人、2学年27,935人、3学年27,964人である。

(統計表15)

エ 男女別では、男子42,748人、女子40,756人で、男子が女子を1,992人上回っている。

(表13)

オ 帰国生徒数(平成16年度間)は26人、外国人生徒数は403人である。(表13)

カ 長期欠席者数(平成16年度間)は3,081人で、前年度より182人(5.6%)減少した。

(表13)

理由別では、病気251人(8.1%)、経済的理由4人(0.1%)、不登校2,642人(85.8%)、その他184人(6.0%)である。(表15)

不登校生徒数の全生徒数に占める割合は3.12%(全国2.73%)で、前年度間より0.19ポイント低下した。(表16)

表13 生徒数 — 中学校 —

(単位：人)

区分	総数	性別		学級種別			長期欠席者数 30日以上	帰国 生徒数	外国人 生徒数
		男	女	単式	複式	75条			
昭和40年度	131,829	67,593	64,236	129,175	160	1,138			967
50	105,294	53,549	51,745	104,072	—	1,222			459
60	141,266	71,923	69,343	140,227	14	1,025		28	757
平成7	106,067	54,485	51,582	105,526	—	541	2,206	40	599
8	104,264	53,368	50,896	103,707	8	549	2,292	36	625
9	103,726	53,035	50,691	103,156	—	570	2,594	53	672
10	101,072	51,738	49,334	100,495	—	577	3,029	36	698
11	98,472	50,567	47,905	97,891	—	581	3,107	37	666
12	94,874	48,678	46,196	94,325	—	549	3,451	41	619
13	92,020	47,086	44,934	91,461	—	559	3,422	44	617
14	88,907	45,477	43,430	88,330	—	577	3,423	44	552
15	86,620	44,190	42,430	86,021	—	599	3,396	50	468
16	84,643	43,391	41,252	83,964	—	679	3,263	41	477
17	83,504	42,748	40,756	82,863	—	641	3,081	26	403
国立	1,222	613	609	1,198	—	24	4	—	4
公立	73,908	38,080	35,828	73,291	—	617	2,990	24	374
私立	8,374	4,055	4,319	8,374	—	—	87	2	25

注) 1 昭和40年度の学級種別生徒数には国立は含まれていない。

2 長期欠席者数は前年度間に30日以上欠席した生徒の数である。

なお、平成2年度間以前の30日以上欠席者数については調査していない。



表 1 4 生徒数の増減率 — 中学校 —

(単位：%)

市 郡	増 減 率 (対12年度)	市 郡	増 減 率 (対12年度)	市 郡	増 減 率 (対12年度)
総 数	△ 12.0	府中市	△ 20.6	安芸郡	△ 10.8
		三次市	△ 13.0	佐伯郡	△ 18.3
広島市	△ 11.0	庄原市	△ 22.4	山県郡	△ 14.2
呉市	△ 9.7	大竹市	△ 13.0	豊田郡	△ 24.9
竹原市	△ 18.0	東広島市	1.1	世羅郡	△ 22.8
三原市	△ 17.3	廿日市市	△ 13.3	深安郡	△ 13.9
尾道市	△ 15.5	安芸高田市	△ 17.0	神石郡	△ 24.1
因島市	△ 24.4	江田島市	△ 22.3		
福山市	△ 12.6				

注) 増減率は、平成12年度の市郡の生徒数に平成17年5月1日以前に合併した市郡の生徒数を加除して算出した生徒数と、平成17年度の生徒数を比較したものである。

表 1 5 理由別長期欠席者数 — 中学校 —

(単位：人，%)

区 分	総 数	病 気 (構成比)	経済的理由 (構成比)	不 登 校 (構成比)	そ の 他 (構成比)
平成 12 年度間	3,422	346 (10.1)	10 (0.3)	2,905 (84.9)	161 (4.7)
13	3,423	243 (7.1)	8 (0.2)	2,988 (87.3)	184 (5.4)
14	3,396	241 (7.1)	12 (0.4)	2,982 (87.8)	161 (4.7)
15	3,263	229 (7.0)	4 (0.1)	2,868 (87.9)	162 (5.0)
16	3,081	251 (8.1)	4 (0.1)	2,642 (85.8)	184 (6.0)

表 1 6 不登校生徒数の全生徒数に  
占める割合 — 中学校 —

(単位：%)

区 分	広島県	全 国
平成 12 年度間	3.06	2.63
13	3.25	2.81
14	3.35	2.73
15	3.31	2.72
16	3.12	2.73

注) 不登校生徒数の全生徒数に占める割合  
= 不登校生徒数 / 当該年度の5月1日現在生徒数 × 100

(4) 教員数

- ア 教員数(本務者)は5,718人で、前年度より85人(1.5%)減少した。(表17)  
 イ 女子教員の占める割合は41.3%(全国41.0%)で、前年度より0.4ポイント低下した。(表17)  
 ウ 本務教員1人当たりの生徒数は14.6人(全国14.6人)で、前年度と同じであった。(表17)

表17 教員数(本務者) — 中学校 —

(単位:人,%)

区分	総数	男	女	女子教員の割合 ( )は全国	教員1人当たりの生徒数 ( )は全国
昭和 40年度	5,457	4,026	1,431	26.2(25.3)	24.2(25.1)
50	5,246	3,691	1,555	29.6(29.4)	20.1(20.3)
60	6,763	4,387	2,376	35.1(33.9)	20.9(21.0)
平成 7	6,374	3,800	2,574	40.4(39.2)	16.6(16.9)
8	6,372	3,792	2,580	40.5(39.8)	16.4(16.7)
9	6,425	3,784	2,641	41.1(40.2)	16.1(16.6)
10	6,308	3,709	2,599	41.2(40.5)	16.0(16.4)
11	6,253	3,676	2,577	41.2(40.6)	15.7(16.2)
12	6,113	3,588	2,525	41.3(40.5)	15.5(15.9)
13	5,997	3,521	2,476	41.3(40.6)	15.3(15.6)
14	5,902	3,474	2,428	41.1(40.7)	15.1(15.2)
15	5,802	3,412	2,390	41.2(40.9)	14.9(14.9)
16	5,803	3,383	2,420	41.7(41.0)	14.6(14.7)
17	<b>5,718</b>	<b>3,359</b>	<b>2,359</b>	<b>41.3(41.0)</b>	<b>14.6(14.6)</b>
国立	57	38	19	33.3(27.2)	21.4(20.3)
公立	5,198	3,021	2,177	41.9(41.4)	14.2(14.3)
私立	463	300	163	35.2(36.3)	18.1(18.3)

### 3 高等学校

#### A 全日制

##### (1) 学校数

ア 学校数は136校（本校134校，分校2校）である。（表18）

イ 設置者別では，国立2校，公立98校，私立36校である。（表18）

表18 全日制の学校数・生徒数・教員数 — 高等学校 —

（単位：校，人）

区分	学校数			生徒数			教員数（本務者）		
	総数	本校	分校	総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	124	101	23	128,661	64,893	63,768	4,957	4,087	870
50	133	114	19	99,969	50,346	49,623	5,232	4,372	860
60	140	134	6	117,265	58,914	58,351	6,331	5,145	1,186
平成7	139	135	4	106,008	53,134	52,874	6,785	5,131	1,654
8	139	135	4	102,694	51,661	51,033	6,692	5,030	1,662
9	139	135	4	98,627	49,538	49,089	6,574	4,892	1,682
10	137	133	4	97,114	48,843	48,271	6,548	4,809	1,739
11	136	132	4	94,913	47,543	47,370	6,496	4,738	1,758
12	136	132	4	93,553	46,890	46,663	6,461	4,699	1,762
13	136	132	4	90,191	45,312	44,879	6,325	4,565	1,760
14	136	132	4	87,246	43,986	43,260	6,135	4,393	1,742
15	137	134	3	84,203	42,384	41,819	5,979	4,277	1,702
16	137	134	3	81,932	41,165	40,767	5,911	4,201	1,710
17	136	134	2	79,292	39,921	39,371	5,705	4,076	1,629
国立	2	2	—	1,208	668	540	87	69	18
公立	98	96	2	53,189	25,766	27,423	4,178	2,902	1,276
私立	36	36	—	24,895	13,487	11,408	1,440	1,105	335

##### (2) 生徒数

ア 生徒数（専攻科を含む。）は79,292人（男子39,921人，女子39,371人）で，前年度より2,640人（3.2%）減少した。（表18）

イ 本科の学科別生徒数は，普通科が57,880人（73.1%），総合学科7,222人（9.1%），工業科5,946人（7.5%），商業科4,713人（5.9%），家庭科794人（1.0%）等である。

（表19）

ウ 専攻科の生徒数は67人である。（統計表24）

表 1 9 全日制の学科別生徒数割合（本科） — 高等学校 —

(単位：%，人)

区 分	総 数	普 通	商 業	工 業	家 庭	総 合	そ の 他
昭和 40 年度	100.0	53.6	17.6	17.1	8.6	—	3.1
50	100.0	63.7	13.7	14.2	5.9	—	2.7
60	100.0	71.5	11.5	10.7	3.9	—	2.5
平成 7	100.0	74.8	9.5	9.5	2.5	0.2	3.1
8	100.0	75.3	8.9	9.1	2.6	0.6	3.3
9	100.0	75.6	8.2	8.8	2.6	1.4	3.5
10	100.0	74.6	7.4	8.2	2.2	4.2	3.4
11	100.0	72.9	6.9	8.0	1.7	7.0	3.4
12	100.0	71.8	6.6	7.8	1.4	9.1	3.3
13	100.0	71.7	6.5	7.8	1.3	9.3	3.4
14	100.0	72.1	6.6	7.7	1.3	9.0	3.3
15	100.0	72.5	6.4	7.6	1.2	9.0	3.3
16	100.0	72.7	6.4	7.5	1.1	9.0	3.3
17	100.0	73.1	5.9	7.5	1.0	9.1	3.4
生徒数	79,225	57,880	4,713	5,946	794	7,222	2,670

注) 総合学科は平成7年度に設置された。

### (3) 教 員 数

- ア 教員数（本務者）は5,705人で、前年度より206人（3.5%）減少した。（表18）
- イ 女子教員の占める割合は28.6%で、前年度より0.3ポイント低下した。（表18）

## B 定 時 制

### (1) 学 校 数

ア 学校数は25校（本校24校，分校1校）である。（うち全日制との併置校21校，定時制のみ4校）（表20，統計表24）

イ 設置者別では，公立23校，私立2校である。（表20）

### (2) 生 徒 数

ア 生徒数は2,483人（男子1,559人，女子924人）で，前年度より152人（5.8%）減少した。（表20）

イ 学科別では，普通科が1,937人（78.0%），工業科403人（16.2%），商業科143人（5.8%）である。（統計表26）

### (3) 教 員 数

教員数（本務者）は311人（男子226人，女子85人）で，前年度より11人（3.4%）減少した。（表20）

表20 定時制の学校数・生徒数・教員数 — 高等学校 —

（単位：校，人）

区 分	学 校 数			生 徒 数			教員数（本務者）		
	総数	本校	分校	総 数	男	女	総数	男	女
昭和 40 年度	63	33	30	10,897	6,828	4,069	478	429	49
50	34	32	2	3,842	2,180	1,662	389	329	60
60	31	29	2	3,358	2,239	1,119	350	279	71
平成 7	31	29	2	3,162	2,233	929	396	306	90
8	31	29	2	2,991	2,091	900	398	303	95
9	31	29	2	2,882	2,015	867	403	302	101
10	31	29	2	2,969	2,040	929	406	304	102
11	31	29	2	3,176	2,216	960	406	301	105
12	31	29	2	3,308	2,278	1,030	405	296	109
13	31	29	2	3,072	2,075	997	397	287	110
14	31	29	2	3,049	2,041	1,008	377	273	104
15	28	26	2	2,889	1,892	997	346	250	96
16	26	25	1	2,635	1,680	955	322	238	84
17	25	24	1	2,483	1,559	924	311	226	85
国 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	23	22	1	2,483	1,559	924	311	226	85
私 立	2	2	—	—	—	—	—	—	—

## C 通 信 制

### (1) 学 校 数

- ア 学校数は7校（本校6校，分校1校）である。（うち全日制との併置校1校）（表2 1）  
 イ 設置者別では，公立2校，私立5校である。（統計表2 4）

### (2) 生 徒 数

- ア 生徒数は4,681人（男子2,543人，女子2,138人）で，前年度より267人（5.4%）減少した。（図2，表2 1）  
 イ 学科別では，普通科が4,268人（91.2%），その他の学科が413人（8.8%）である。（統計表2 6）

### (3) 教 員 数

教員数は本務者83人，兼務者113人（校内91人，協力校等22人）である。（表2 1）

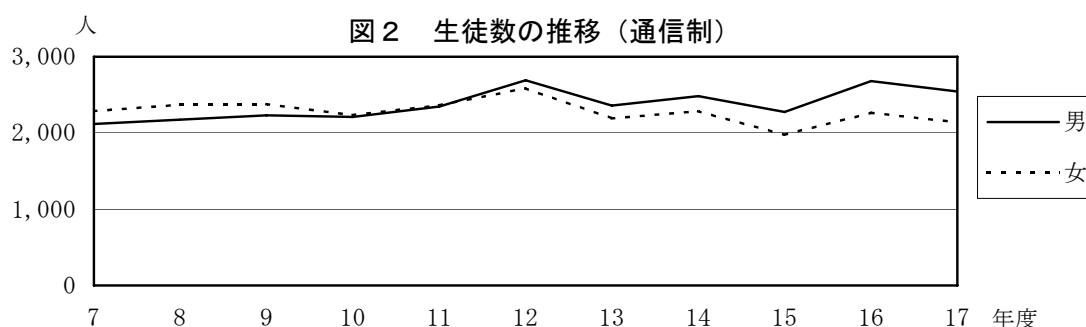


表2 1 通信制の学校数・生徒数・教員数 — 高等学校 —

(単位：校，人)

区 分	学 校 数			生 徒 数			教 員 数					
	独 立 校	併 置 校	協 力 校	総 数	男	女	本 務 者			兼 務 者		
							総数	男	女	総数	男	女
昭和 40年度	—	2	24	3,057	1,904	1,153	32	28	4	83	79	4
50	—	2	21	3,284	1,735	1,549	45	37	8	49	47	2
60	—	2	16	4,141	1,892	2,249	56	42	14	52	36	16
平成 7	2	—	21	4,406	2,118	2,288	70	53	17	50	38	12
8	2	—	20	4,544	2,172	2,372	70	52	18	48	37	11
9	2	—	19	4,611	2,231	2,380	72	49	23	46	35	11
10	2	—	18	4,443	2,209	2,234	72	45	27	43	30	13
11	2	—	20	4,708	2,345	2,363	74	45	29	48	32	16
12	4	1	21	5,276	2,690	2,586	97	63	34	57	37	20
13	4	1	20	4,550	2,359	2,191	93	63	30	60	35	25
14	5	1	15	4,771	2,484	2,287	86	58	28	65	38	27
15	5	1	13	4,247	2,274	1,973	76	55	21	50	27	23
16	6	1	17	4,948	2,680	2,268	87	59	28	78	34	44
17	6	1	23	4,681	2,543	2,138	83	58	25	113	51	62

注) 教員数兼務者には校外協力校の兼務者を含む。

#### 4 盲学校・ろう学校・養護学校

##### (1) 学校数

学校数は、盲学校1校、ろう学校3校（うち分校1校）、養護学校13校である。（表22）

##### (2) 在学者数

在学者数は、盲学校78人（男子39人、女子39人）、ろう学校101人（男子62人、女子39人）、養護学校1,346人（男子879人、女子467人）である。（表22）

##### (3) 教員数

教員数（本務者）は、盲学校72人、ろう学校77人、養護学校941人である。（表22）

表22 学校数・在学者数・教員数 — 盲学校・ろう学校・養護学校 —

（単位：校、人）

区 分	盲 学 校			ろ う 学 校			養 護 学 校		
	学校数	在 学 者 数	教員数 (本務者)	学校数	在 学 者 数	教員数 (本務者)	学校数	在 学 者 数	教員数 (本務者)
昭和 40 年度	1	193	46	3	475	102	4	317	70
50	1	189	57	3	263	116	5	686	256
60	1	140	77	3	190	138	12	1,715	896
平成 7	1	87	75	3	102	105	13	1,126	1,079
8	1	80	77	3	90	107	13	1,067	1,047
9	1	72	73	3	72	106	13	1,029	1,036
10	1	76	77	3	74	97	13	1,008	1,023
11	1	71	74	3	76	93	13	1,007	996
12	1	68	68	3	77	86	13	1,063	953
13	1	65	62	3	81	83	13	1,117	930
14	1	63	67	3	87	77	13	1,169	898
15	1	72	67	3	93	74	13	1,202	914
16	1	69	66	3	98	80	13	1,278	922
17	1	78	72	3	101	77	13	1,346	941

## 5 幼稚園

### (1) 幼稚園数

ア 幼稚園数は341園（本園338園，分園3園）である。（表23）

イ 設置者別では，国立2園，公立127園（うち休園中17園），私立212園（うち休園中11園）で，私立が全体の約6割となっている。（表23）

私立の設置者別では，学校法人立193園（91.0%），個人立10園（4.7%），宗教法人立9園（4.3%）である。（統計表45）

ウ 園児数別では，園児数1～50人の幼稚園が97園（28.4%）で最も多い。

1園当たりの園児数は115人で，私立の1園当たりの園児数は公立の約3倍である。

（表24）

表23 幼稚園数・学級数・園児数・教員数 — 幼稚園 —

（単位：園，学級，人）

区分	園数	学級数	園児数				教員数 (本務者)
			総数	3歳	4歳	5歳	
昭和 40年度	225	894	28,684	2,204	11,179	15,301	1,182
50	313	1,639	53,039	5,337	21,889	25,813	2,100
60	377	1,678	46,586	6,211	18,597	21,778	2,378
平成 7	369	1,589	39,981	8,628	14,797	16,556	2,319
8	368	1,586	39,326	8,725	14,584	16,017	2,311
9	364	1,581	39,077	8,891	14,462	15,724	2,276
10	359	1,577	38,804	9,115	14,176	15,513	2,293
11	356	1,572	38,271	8,727	14,353	15,191	2,245
12	348	1,572	37,863	8,952	13,728	15,183	2,250
13	343	1,580	37,203	9,118	13,651	14,434	2,232
14	342	1,576	36,971	9,293	13,394	14,284	2,276
15	343	1,588	36,831	9,209	13,485	14,137	2,288
16	340	1,572	36,236	9,355	12,845	14,036	2,317
17	341	1,584	35,977	9,676	12,845	13,456	2,344
国立	2	8	252	46	104	102	13
公立	127	263	5,100	277	2,078	2,745	423
私立	212	1,313	30,625	9,353	10,663	10,609	1,908

表24 園児数別園数 — 幼稚園 —

（単位：園，人）

区分	幼稚園 総数	0人	1～ 50人	51～ 100人	101～ 150人	151～ 200人	201～ 250人	251～ 300人	301～ 400人	401人 以上	1園当た り園児数
50	313	—	45	58	61	45	41	23	22	18	169
60	377	4	88	101	67	47	32	18	14	6	125
平成 7	369	17	123	78	49	42	24	15	19	2	114
8	367	18	127	76	44	40	27	14	18	3	112
9	364	21	120	74	45	45	23	15	17	4	114
10	359	23	113	70	49	47	22	15	14	6	115
11	356	27	107	68	51	50	21	14	12	6	116
12	348	23	103	65	55	49	22	18	7	6	117
13	343	20	104	73	48	47	21	13	12	5	115
14	342	23	105	68	46	43	26	16	11	4	116
15	343	27	102	66	50	47	18	17	12	4	117
16	340	27	101	69	46	45	23	14	11	4	116
17	341	28	97	73	49	43	22	17	7	5	115
国立	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—	126
公立	127	17	68	27	14	—	1	—	—	—	46
私立	212	11	29	45	35	42	21	17	7	5	152

注) 1 0人とは休園中の幼稚園である。

2 1園当たり園児数の算出式は次のとおりである。

1園当たり園児数＝園児総数／（幼稚園総数－休園中の幼稚園数）



## (2) 園児数

ア 園児数は35,977人(男子18,219人,女子17,758人)で,前年度より259人(0.7%)減少し,平成元年度以降連続して減少している。(表23)

イ 設置者別では,国立252人,公立5,100人,私立30,625人で,私立が全体の8割以上を占めている。(表23)

ウ 入園児数は14,104人で,前年度より151人(1.1%)増加した。

年齢別では,3歳児9,030人(64.0%),4歳児3,957人(28.1%),5歳児1,117人(7.9%)である。(表25)

エ 前年度の修了者数は14,054人,就園率は50.9%(全国58.4%)で,前年度より0.3ポイント低下した。(表25)

表25 年齢別入園児数・修了者数・就園率 — 幼稚園 —

(単位:人,%)

区分	入園児数				修了者数	就園率
	総数	3歳児	4歳児	5歳児		
昭和40年度	16,916	2,204	9,193	5,519	14,816	41.6
50	29,785	5,337	17,261	7,187	25,382	57.1
60	22,664	6,211	12,773	3,680	23,093	58.3
平成7	17,568	8,628	6,809	2,131	17,450	57.3
8	17,134	8,725	6,381	2,028	16,557	56.8
9	17,029	8,891	6,238	1,900	15,952	56.0
10	16,648	9,115	5,694	1,839	15,705	55.4
11	16,080	8,727	5,692	1,661	15,385	54.8
12	15,960	8,952	5,432	1,576	15,132	54.3
13	15,328	8,806	5,107	1,415	15,177	53.3
14	15,027	8,947	4,777	1,303	14,457	52.6
15	14,871	8,795	4,623	1,453	14,371	51.7
16	13,953	8,783	4,050	1,120	14,141	51.2
17	14,104	9,030	3,957	1,117	14,054	50.9

注) 就園率=幼稚園修了者数/本年度小学校1学年児童数×100

## (3) 教員数

ア 教員数(本務者)は2,344人(男子154人,女子2,190人)で,前年度より27人(1.2%)増加した。

女子教員の割合は93.4%である。(表23)

イ 本務教員1人当たりの園児数は15.3人である。(表23)

## 6 専修学校

### (1) 学校数

ア 学校数は91校である。(表26)

イ 設置者別では、国立2校、公立2校、私立87校である。(表26)

### (2) 学科数

学科数は239学科(昼間224学科、その他15学科)である。(表26、統計表46)

### (3) 生徒数

ア 生徒数は16,521人(男子6,948人、女子9,573人)で、前年度より394人(2.3%)減少した。(表26)

イ 課程別では、高等課程1,789人(10.8%)、専門課程14,641人(88.6%)、一般課程91人(0.6%)である。(表27)

ウ 学科別では、医療関係5,217人(31.6%)、工業関係2,429人(14.7%)、教育社会福祉関係2,146人(13.0%)、文化・教養関係2,090人(12.7%)、商業実務関係2,009人(12.2%)等となっている。(表27)

エ 学科別・男女別では、男子は工業関係(30.0%)、女子は医療関係(38.7%)が最も多い。(表27、図4)

表26 学校数・学科数・生徒数・教員数 — 専修学校 —

(単位：校、学科、人)

区分	学校数	学科数	生徒数			教員数(本務者)		
			総数	男	女	総数	男	女
昭和51年度	16	42	2,181	301	1,880	122	30	92
60	89	253	10,610	2,239	8,371	585	161	424
平成7	96	257	22,096	11,074	11,022	931	441	490
8	98	267	21,378	10,662	10,716	973	460	513
9	98	281	20,227	9,899	10,328	1,044	503	541
10	98	270	18,394	8,798	9,596	1,001	452	549
11	98	261	16,145	6,973	9,172	967	428	539
12	99	258	15,822	6,599	9,223	986	437	549
13	99	267	16,461	6,834	9,627	984	438	546
14	97	261	15,766	6,398	9,368	977	443	534
15	96	247	16,535	6,751	9,784	991	432	559
16	92	250	16,915	7,042	9,873	1,000	436	564
17	91	239	16,521	6,948	9,573	995	452	543
国立	2	2	40	6	34	13	9	4
公立	2	4	575	77	498	58	2	56
私立	87	233	15,906	6,865	9,041	924	441	483

注) 専修学校制度は昭和51年度に発足した。

図3 専修学校・各種学校の生徒数の推移

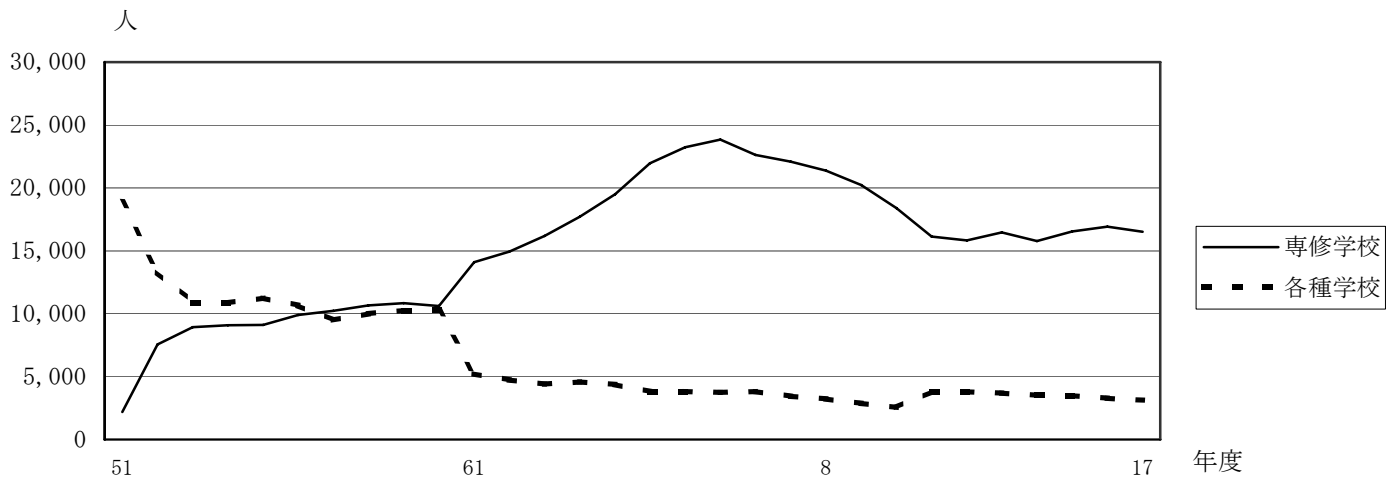
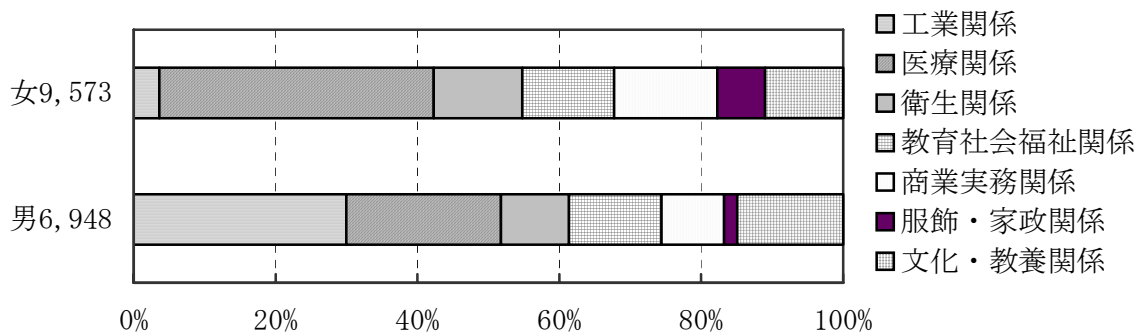


表27 課程別学科別生徒数 — 専修学校 —

(単位：人)

区 分	総 数			高 等 課 程			専 門 課 程			一 般 課 程		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
〔 総 数 〕	16,521	6,948	9,573	1,789	569	1,220	14,641	6,322	8,319	91	57	34
工 業 関 係	2,429	2,083	346	—	—	—	2,429	2,083	346	—	—	—
医 療 関 係	5,217	1,514	3,703	999	188	811	4,218	1,326	2,892	—	—	—
衛 生 関 係	1,859	666	1,193	32	21	11	1,736	588	1,148	91	57	34
教育社会福祉関係	2,146	907	1,239	101	49	52	2,045	858	1,187	—	—	—
商 業 実 務 関 係	2,009	612	1,397	91	76	15	1,918	536	1,382	—	—	—
服 飾 ・ 家 政 関 係	771	129	642	220	32	188	551	97	454	—	—	—
文 化 ・ 教 養 関 係	2,090	1,037	1,053	346	203	143	1,744	834	910	—	—	—

図4 学科別生徒割合



(4) 卒業者数（前年度間）

ア 卒業者数は6,905人で、うち就職している者の割合は77.7%である。

学科別就職者数割合では、衛生関係が92.5%と最も高く、次いで教育社会福祉関係87.5%となっている。（表28）

イ 就職者のうち関係分野に就職した者の割合は88.6%で、特に医療関係（99.3%）、教育社会福祉関係（96.6%）、衛生関係（95.1%）、の割合が高くなっている。（表28）

表28 学科別卒業者数 — 専修学校 —

（単位：人，%）

区 分	卒業者総数 ①	総数のうち		就職者のうち関係分野	
		就 職 者 ②	②/①×100	に 就 職 し た 者 ③	③/②×100
〔 総 数 〕	6,905	5,367	77.7	4,754	88.6
工 業 関 係	1,036	866	83.6	652	75.3
医 療 関 係	1,675	1,347	80.4	1,337	99.3
衛 生 関 係	951	880	92.5	837	95.1
教育社会福祉関係	953	834	87.5	806	96.6
商 業 実 務 関 係	915	698	76.3	552	79.1
服 飾 ・ 家 政 関 係	357	184	51.5	146	79.3
文 化 ・ 教 養 関 係	1,018	558	54.8	424	76.0

## 7 各種学校

### (1) 学校数

学校数は37校（全て私立）である。（表29）

### (2) 課程数

課程数は55課程である（表29）

### (3) 生徒数

ア 生徒数は3,131人（男子1,898人，女子1,233人）で，前年度より158人（4.8%）減少した。（表29）

イ 課程別では，男子は予備校が1,384人（72.9%），外国人学校221人（11.6%）等となっている。

女子は予備校が501人（40.6%），准看護261人（21.2%），外国人学校226人（18.3%）等となっている。（統計表50）

表29 学校数・課程数・生徒数・教員数 — 各種学校 —

（単位：校，課程，人）

区分	学校数	課程数	生徒数			教員数（本務者）		
			総数	男	女	総数	男	女
昭和 40年度	170	356	23,815	3,433	20,382	758	136	622
50	178	306	21,110	6,616	14,494	758	198	560
60	67	82	10,278	6,799	3,479	243	122	121
平成 7	49	86	3,445	2,066	1,379	192	91	101
8	43	82	3,229	1,867	1,362	174	79	95
9	40	69	2,884	1,637	1,247	169	88	81
10	39	65	2,545	1,419	1,126	167	90	77
11	37	63	3,811	2,404	1,407	185	109	76
12	38	63	3,780	2,367	1,413	176	101	75
13	37	64	3,681	2,317	1,364	180	100	80
14	36	63	3,508	2,141	1,367	184	101	83
15	37	61	3,479	2,143	1,336	180	93	87
16	35	59	3,289	2,019	1,270	179	91	88
17	37	55	3,131	1,898	1,233	187	95	92

### Ⅲ 卒業後の状況調査

#### 1 中学校卒業生

##### (1) 卒業生数

ア 卒業生総数は28,627人(男子14,724人,女子13,903人)で,前年度より1,269人(4.2%)減少した。(表30)

イ 進路別内訳では,進学者27,908人(うち就職している者13人),専修学校等入学者269人,就職者146人,左記以外の者・死亡・不詳の者304人である。(表30)

表30 進路別卒業生数 — 中学校卒業生 —

(単位:人,%)

区分	卒業生数 (A+B+C+D)			A 進 学 者	B 専修学 校等 入学者	C 就 職 者	D 左記以外 の者・死亡 ・不詳の者	Aの うち 就職者	Bの うち 就職者	進 学 率	就 職 率
	総数	男	女								
昭和40年度	53,939	27,613	26,326	44,947	—	7,704	1,288	1,679	—	83.3	17.4
50	35,564	18,251	17,313	34,617	—	487	460	318	—	97.3	2.3
60	43,360	22,193	21,167	41,865	599	591	305	301	9	96.6	2.1
平成7	36,884	18,820	18,064	36,135	325	228	196	74	2	98.0	0.8
8	36,161	18,594	17,567	35,489	299	212	161	50	2	98.1	0.7
9	34,286	17,612	16,674	33,676	238	182	190	37	4	98.2	0.7
10	35,363	18,149	17,214	34,636	285	232	210	61	1	97.9	0.8
11	34,331	17,468	16,863	33,488	341	208	294	28	1	97.5	0.7
12	33,811	17,363	16,448	32,964	359	191	297	34	2	97.5	0.7
13	32,652	16,814	15,838	31,757	372	213	310	24	2	97.3	0.7
14	31,620	16,267	15,353	30,701	339	178	402	45	—	97.1	0.7
15	30,231	15,485	14,746	29,350	333	170	378	33	—	97.1	0.7
16	29,896	15,255	14,641	29,070	285	170	371	25	—	97.2	0.7
17	28,627	14,724	13,903	27,908	269	146	304	13	—	97.5	0.6
国立	407	202	205	405	1	—	1	—	—	99.5	—
公立	25,462	13,198	12,264	24,754	266	146	296	13	—	97.2	0.6
私立	2,758	1,324	1,434	2,749	2	—	7	—	—	99.7	—

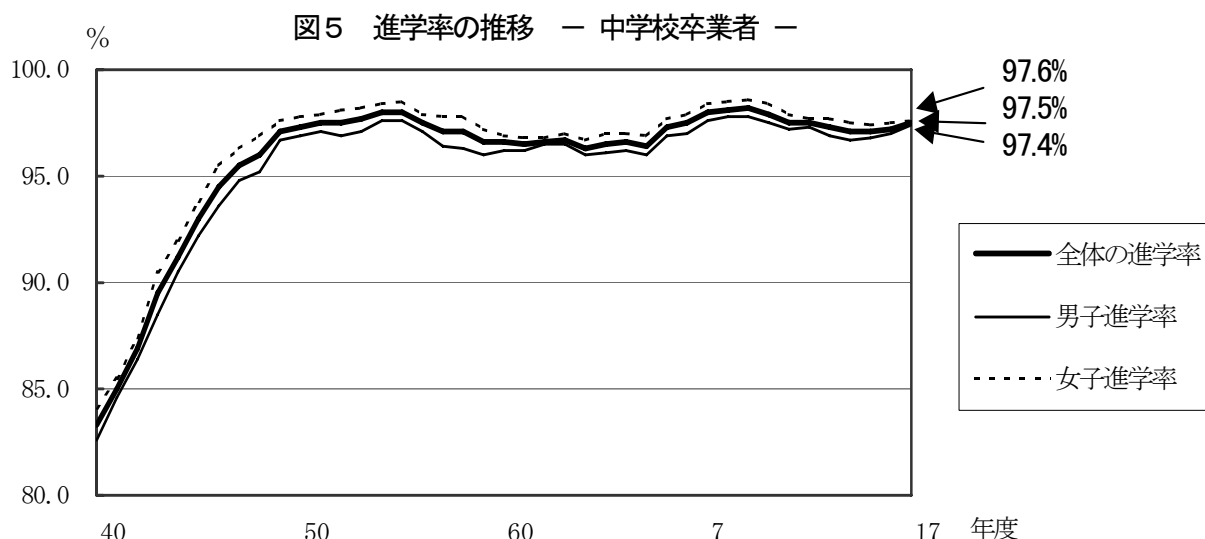
注) 1 この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 昭和40年度及び50年度の「専修学校等入学者」は「左記以外の者・死亡・不詳の者」に含めている。

##### (2) 進学者数

ア 進学者(就職しながら進学した者を含む。)は27,908人(男子14,338人,女子13,570人)で,前年より1,162人(4.0%)減少した。(表30)

イ 進学率は97.5%(全国97.6%)で,前年度より0.3ポイント上昇した。(表30, 図5)



(3) 専修学校等入学者数

ア 専修学校等入学者（就職しながら入学した者を含む。）は269人（男子124人、女子145人）で、前年度より16人（5.6%）減少した。（表31）

イ 専修学校等入学率は0.9%で、前年度より0.1ポイント低下した。（表30）

ウ 専修学校等入学者の内訳では、専修学校245人（91.1%）、各種学校19人（7.1%）、公共職業能力開発施設等5人（1.8%）となっている。（表31）

表31 専修学校等入学者の内訳 — 中学校卒業者 —

(単位：人，%)

区分	総数			専修学校			各種学校			公共職業能力開発施設等		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和60年度	599	281	318	267	66	201	153	46	107	179	169	10
平成7	325	161	164	271	123	148	25	12	13	29	26	3
8	299	148	151	239	105	134	29	16	13	31	27	4
9	238	124	114	200	101	99	22	9	13	16	14	2
10	285	148	137	233	120	113	29	9	20	23	19	4
11	341	170	171	285	140	145	38	15	23	18	15	3
12	359	173	186	308	135	173	28	18	10	23	20	3
13	372	183	189	329	153	176	24	12	12	19	18	1
14	339	158	181	298	141	157	26	4	22	15	13	2
15	333	161	172	292	141	151	34	13	21	7	7	—
16	285	119	166	251	105	146	28	8	20	6	6	—
17	269	124	145	245	110	135	19	10	9	5	4	1
構成比	100.0	100.0	100.0	91.1	88.7	93.1	7.1	8.1	6.2	1.9	3.2	0.7

注) 1 この表は、前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 平成10年度以前の数字は「公共職業訓練施設等入学者」の人数である。

#### (4) 就 職 者 数

ア 就職者数（就職しながら進学または入学した者を含む。）は 159 人（男子 117 人，女子 42 人）で，前年度より 36 人（18.5%）減少した。（表 3 0）

イ 就職率は 0.6%（全国 0.7%）で，前年度より 0.1 ポイント低下している。

男女別では，男子 0.8%，女子 0.3%で，男子が女子を 0.5 ポイント上回っている。

（表 3 0，統計表 5 3）

ウ 産業別では，第一次産業 6 人（3.8%），第二次産業 69 人（43.4%），第三次産業 80 人（50.3%）である。（表 3 2）

エ 県内就職者は 149 人（93.7%），県外就職者 10 人（6.3%）である。（表 3 2）

表 3 2 産業別・県内県外別就職者の割合 — 中学校卒業者 —

（単位：人，%）

区 分	就職者総数 (実 数)	産 業 分 類				県 内 就職率	県 外 就職率
		第一次	第二次	第三次	分類不能		
昭和 40 年度	9,383	1.2	69.6	25.4	3.8	81.8	18.2
50	805	2.0	56.0	39.1	2.9	88.6	11.4
60	901	2.9	53.9	41.0	2.2	90.3	9.7
平成 7	304	1.6	63.2	32.9	2.3	91.1	8.9
8	264	3.8	56.1	34.8	5.3	90.5	9.5
9	223	3.1	58.7	36.3	1.8	91.0	9.0
10	294	4.4	59.2	29.6	6.8	93.5	6.5
11	237	4.6	47.7	42.2	5.5	94.1	5.9
12	227	3.1	59.9	26.0	11.0	96.5	3.5
13	239	1.7	49.4	42.7	6.3	97.1	2.9
14	223	4.5	55.6	32.7	7.2	94.2	5.8
15	203	6.4	50.7	38.9	3.9	96.6	3.4
16	195	3.1	53.8	41.0	2.1	94.4	5.6
17	159	3.8	43.4	50.3	2.5	93.7	6.3
(実 数)	—	6	69	80	4	149	10

注) この表は，前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。



## 2 高等学校卒業生

### (1) 卒業生数

ア 卒業生総数は28,322人(男子14,323人,女子13,999人)で,前年度より482人(1.7%)減少した。(表33)

イ 進路別内訳では,進学者15,181人(うち就職している者2人),専修学校等入学者7,482人(うち就職している者105人),就職者3,613人,一時的な仕事に就いた者264人,左記以外の者・死亡・不詳の者1,782人である。(表33)

表33 進路別卒業生数 — 高等学校卒業生 —

(単位:人,%)

区分	卒業生数 (A+B+C+D+E)			A 進 学 者	B 専修学 校等 入学者	C 就 職 者	D 一時的 な仕事 に就い た者	E 左記以外 の者・死亡 ・不詳の者	Aの うち 就職者	Bの うち 就職者	進 学 率	就 職 率
	総数	男	女									
昭和40年度	35,417	17,671	17,746	10,555	…	20,330	…	4,532	244	…	29.8	58.1
50	33,030	16,388	16,642	14,503	…	12,247	…	6,280	128	…	43.9	37.5
60	31,423	15,767	15,656	12,823	7,712	10,130	…	758	78	275	40.8	33.4
平成7	37,187	18,587	18,600	17,286	11,211	6,698	…	1,992	23	373	46.5	19.1
8	36,200	18,070	18,130	17,182	10,766	6,232	…	2,020	18	313	47.5	18.1
9	34,660	17,361	17,299	17,169	9,551	5,909	…	2,031	15	326	49.5	18.0
10	32,985	16,496	16,489	17,288	8,307	5,375	…	2,015	16	251	52.4	17.1
11	32,187	16,144	16,043	16,671	8,233	4,630	…	2,653	15	268	51.8	15.3
12	30,482	15,216	15,266	15,944	7,914	4,205	…	2,419	9	234	52.3	14.6
13	31,174	15,606	15,568	16,272	8,338	3,966	…	2,598	4	241	52.2	13.5
14	30,011	14,965	15,046	15,534	8,271	3,741	…	2,465	7	161	51.8	13.0
15	29,657	14,919	14,738	15,150	8,558	3,599	…	2,350	2	149	51.1	12.6
16	28,804	14,561	14,243	14,767	8,102	3,738	350	1,847	6	134	51.3	13.5
17	28,322	14,323	13,999	15,181	7,482	3,613	264	1,782	2	105	53.6	13.1
国立	401	231	170	287	113	1	—	—	—	—	71.6	0.2
公立	19,003	9,399	9,604	9,655	5,229	2,910	253	956	2	89	50.8	15.8
私立	8,918	4,693	4,225	5,239	2,140	702	11	826	—	16	58.7	8.1
全日制	26,874	13,526	13,348	15,013	7,275	3,272	193	1,121	—	100	55.9	12.5
定時制	441	267	174	27	62	168	71	113	2	5	6.1	39.7
通信制	1,007	530	477	141	145	173	…	548	—	—	14.0	17.2
構成比	100.0	100.0	100.0	53.6	26.4	12.8	0.9	6.3				

注) 1 この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 昭和40年度及び50年度の「専修学校等入学者」は「左記以外の者・死亡・不詳」に含めている。

3 通信制課程においては,「一時的な仕事に就いた者」は調査していない。

## (2) 進学者数

ア 進学者(就職しながら進学した者を含む。)は15,181人(男子7,638人,女子7,543人)で,前年度より414人(2.8%)増加した。(表34)

イ 進学率は53.6%(全国46.1%)で,前年度より2.3ポイント上昇した。

(表33, 図6)

ウ 進学先では,大学(学部)12,993(85.6%),短期大学(本科)2,143人(14.1%),その他45人(0.3%)で,大学(学部)進学者のうち56.7%を男子が,短期大学(本科)進学者のうち87.8%を女子が占めている。

また,男子進学者のうち96.5%,女子進学者のうち74.6%が大学(学部)に進学している。

(表34)

エ 入学率は,大学(学部)は85.3%で,前年度より3.3ポイント上昇した。

また,短期大学(本科)は94.6%で,前年度より3.3ポイント上昇した。(表35)

表34 大学・短期大学等への進学者数 — 高等学校卒業者 —

(単位:人,%)

区分	総数			大学(学部)			短期大学(本科)			その他		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	10,555	6,074	4,481	7,012	5,574	1,438	3,319	391	2,928	224	109	115
50	14,503	6,965	7,538	9,250	6,600	2,650	5,215	363	4,852	38	2	36
60	12,823	5,992	6,831	8,050	5,620	2,430	4,745	365	4,380	28	7	21
平成7	17,286	7,031	10,255	11,272	6,582	4,690	5,960	420	5,540	54	29	25
8	17,182	7,247	9,935	11,642	6,792	4,850	5,497	442	5,055	43	13	30
9	17,169	7,675	9,494	12,053	7,203	4,850	5,069	456	4,613	47	16	31
10	17,288	7,904	9,384	12,547	7,453	5,094	4,685	442	4,243	56	9	47
11	16,671	7,996	8,675	12,700	7,596	5,104	3,934	390	3,544	37	10	27
12	15,944	7,833	8,111	12,688	7,467	5,221	3,221	362	2,859	35	4	31
13	16,272	8,006	8,266	13,241	7,674	5,567	2,999	323	2,676	32	9	23
14	15,534	7,610	7,924	12,947	7,304	5,643	2,558	302	2,256	29	4	25
15	15,150	7,449	7,701	12,771	7,150	5,621	2,349	295	2,054	30	4	26
16	14,767	7,353	7,414	12,519	7,068	5,451	2,204	281	1,923	44	4	40
17	15,181	7,638	7,543	12,993	7,368	5,625	2,143	262	1,881	45	8	37
全日制	15,013	7,547	7,466	12,884	7,298	5,586	2,091	246	1,845	38	3	35
定時制	27	15	12	16	9	7	11	6	5	0	—	—
通信制	141	76	65	93	61	32	41	10	31	7	5	2
構成比	100.0	100.0	100.0	85.6	96.5	74.6	14.1	3.4	24.9	0.3	0.1	0.5

注) この表は,前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

図6 男女別進学率及び就職率の推移 — 高等学校卒業者 —

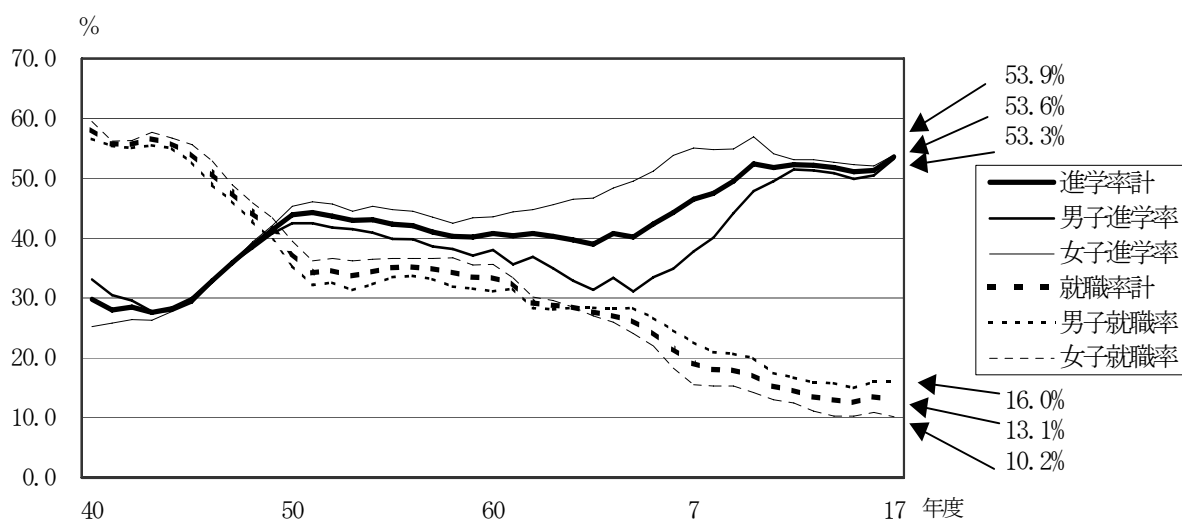


表35 大学(学部)・短期大学(本科)への当該年度卒業者の入学率及び入学志願者数 — 高等学校卒業者 —

(単位：人，%)

区 分	当該年度卒業者の入学率		入 学 志 願 者 数			
	大 学 (学部)	短期大学 (本科)	大 学 (学部)		短期大学 (本科)	
			当該年度卒業	過年度卒業	当該年度卒業	過年度卒業
昭和 40 年度	77.5	89.3	9,042	2,043	3,716	299
50	71.4	95.5	12,950	3,470	5,463	115
60	66.2	94.4	12,157	4,336	5,028	83
平成 7	66.6	92.2	16,935	5,082	6,466	128
8	69.2	93.7	16,818	4,780	5,865	123
9	75.6	96.2	15,949	4,318	5,270	104
10	78.4	95.7	16,006	4,066	4,898	197
11	80.5	95.8	15,784	2,812	4,107	126
12	81.7	96.0	15,534	3,224	3,356	144
13	81.4	94.3	16,266	2,544	3,181	59
14	80.9	95.8	16,004	2,696	2,671	67
15	81.4	94.2	15,689	2,626	2,493	48
16	82.0	91.3	15,262	2,549	2,415	33
17	<b>85.3</b>	<b>94.6</b>	<b>15,227</b>	<b>2,149</b>	<b>2,265</b>	<b>59</b>
全 日 制	85.4	94.8	15,087	2,132	2,206	55
定 時 制	80.0	91.7	20	5	12	—
通 信 制	77.5	87.2	120	12	47	4

注) 1 この表は、前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 当該年度卒業者の入学率の算出式は次のとおりである。

$$\text{当該年度卒業者の入学率} = \frac{\text{当該年度進学者}}{\text{当該年度志願者}} \times 100$$

3 昭和50年度の過年度卒業者の入学志願者数には国立は含まれていない。

### (3) 専修学校等入学者数

ア 専修学校等入学者(就職しながら入学した者を含む。)は7,482人(男子3,572人,女子3,910人)で,前年度より620人(7.7%)減少した。(表36)

イ 専修学校等入学率は26.4%で,前年度より1.7ポイント低下した。(表33)

ウ 入学者の内訳は,専修学校5,744人(76.8%),各種学校1,524人(20.4%),公共職業能力開発施設等214人(2.8%)となっている。(表36)

表36 専修学校等入学者の内訳 — 高等学校卒業者 —

(単位:人,%)

区 分	総 数			専 修 学 校			各 種 学 校			公共職業能力開発施設等		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和 60 年度	7,712	4,621	3,091	3,529	1,234	2,295	3,983	3,221	762	200	166	34
平成 7	11,211	6,521	4,690	8,424	4,491	3,933	2,534	1,868	666	253	162	91
8	10,766	6,139	4,627	8,035	4,197	3,838	2,471	1,754	717	260	188	72
9	9,551	5,242	4,309	7,123	3,549	3,574	2,155	1,500	655	273	193	80
10	8,307	4,398	3,909	6,360	3,039	3,321	1,692	1,183	509	255	176	79
11	8,233	4,211	4,022	5,467	2,298	3,169	2,492	1,713	779	274	200	74
12	7,914	3,895	4,019	5,490	2,205	3,285	2,178	1,500	678	246	190	56
13	8,338	4,112	4,226	5,797	2,357	3,440	2,310	1,567	743	231	188	43
14	8,271	4,003	4,268	5,704	2,262	3,442	2,335	1,559	776	232	182	50
15	8,558	4,182	4,376	6,176	2,504	3,672	2,158	1,497	661	224	181	43
16	8,102	3,920	4,182	6,091	2,525	3,566	1,788	1,208	580	223	187	36
17	7,482	3,572	3,910	5,744	2,360	3,384	1,524	1,041	483	214	171	43
全 日 制	7,275	3,467	3,808	5,555	2,266	3,289	1,515	1,036	479	205	165	40
定 時 制	62	37	25	55	34	21	1	—	1	6	3	3
通 信 制	145	68	77	134	60	74	8	5	3	3	3	—
構 成 比	100.0	100.0	100.0	76.8	66.1	86.5	20.4	29.1	12.4	2.9	4.8	1.1

注) 1 この表は,前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 平成10年度以前の数字は「公共職業訓練施設等入学者」の人数である。

#### (4) 就 職 者 数

- ア 就職者数（就職しながら進学または入学した者を含む。）は 3,720 人（男子 2,287 人，女子 1,433 人）で，前年度より 158 人（4.1%）減少した。（表 3 3，3 7）
- イ 就職率は 13.1%（全国 17.4%）で，前年度より 0.4 ポイント低下した。  
男女別では，男子 16.0%，女子 10.2%で，男子が女子を 5.8 ポイント上回っている。  
（表 3 3，3 7，図 6）
- ウ 産業別では，男子は製造業 50.9%，公務 9.4%，建設業 8.7%の順になっている。  
女子は製造業 24.6%，卸売・小売業 23.2%，サービス業 18.3%の順になっている。  
（表 3 7）
- エ 職業別では，男子は生産工程作業員及び労務作業員（以下「労務作業員等」という。）62.4%，  
サービス職業従事者 9.7%，保安職業従事者 7.4%の順になっている。  
女子はサービス職業従事者 26.8%，販売従事者 20.7%，事務従事者 19.7%の順になっている。  
（統計表 6 8）
- オ 県内就職者（通信制は除く。）は 3,247 人（男子 1,946 人，女子 1,301 人）で，県内就職率は 91.5%となっている。  
県外就職者（通信制は除く。）は 300 人（男子 213 人，女子 87 人）となっている。  
主な就職者先（通信制は除く。）は，東京都 60 人，大阪府 58 人，岡山県 36 人等となっている。  
（統計表 6 6，6 9，参考 2）

表 3 7 男女別・産業別就職者の割合 — 高等学校卒業生 —

（単位：人，%）

区 分	就職者総数 (実数)		構 成 比																	
			建設業		製造業		運輸業		卸売・ 小売業		飲食店、 宿泊業		医療、 福祉		サービス業		公務 (他に分類さ れないもの)		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成 16 年度	2,325	1,553	11.8	1.2	46.1	21.2	4.9	2.2	9.4	26.5	3.4	6.0	1.5	14.7	7.7	18.5	8.9	1.6	6.3	8.1
平成 17 年度	2,287	1,433	8.7	1.6	50.9	24.6	6.2	1.1	7.0	23.2	4.5	6.6	1.7	16.1	7.3	18.3	9.4	2.2	4.3	6.3
全 日 制	2,039	1,333	7.8	1.5	54.2	25.4	6.1	1.2	6.7	23.6	4.3	6.5	1.7	16.0	7.5	17.3	7.7	2.3	4.0	6.2
定 時 制	120	55	21.7	3.6	36.7	20.0	8.3	-	9.2	18.2	5.8	14.5	3.3	20.0	5.8	16.4	0.8	-	8.4	7.3
通 信 制	128	45	10.2	2.2	10.9	6.7	5.5	-	9.4	17.8	6.3	2.2	0.8	13.3	6.3	48.9	44.5	-	6.1	8.9

注) この表は、前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

### 3 盲学校・ろう学校・養護学校卒業生

#### (1) 中 学 部

ア 卒業生総数は盲学校6人，ろう学校7人，養護学校82人である。(表38)

イ 盲学校卒業生，ろう学校卒業生及び養護学校卒業生の全員が進学し，主な進学先は盲学校・ろう学校・養護学校の高等部である。(表38)

#### (2) 高 等 部

ア 卒業生総数は盲学校3人，ろう学校4人，養護学校206人である。(表38)

イ 卒業生のうち進学者は，養護学校1人である。(表38)

ウ 卒業生のうち就職者は，盲学校1人，ろう学校2人，養護学校21人である。

産業別では，第二次産業8人(33.3%)，第三次産業16人(66.7%)である。

職業別では，労務作業等9人(37.5%)，サービス職業従事者5人(20.8%)販売従事者2人(8.3%)，等である。(表38)

表38 進路別卒業生数 — 盲・ろう・養護学校卒業生 —

(単位：人)

区 分	卒業生数	進学者	専修学校等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者	産業別・職業別就職者数(再掲)										
							計	産業別			職業別				左記以外の者		
								第一次産業	第二次産業	第三次産業	専門的従事者	事務従事者	販売従事者	労務作業者等		職業従事者 サービス	
(中学部)																	
平成16年度	81	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平成17年度	95	95	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
盲学校	6	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ろう学校	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
養護学校	82	82	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(高等部)																	
平成16年度	192	4	3	16	169	—	16	—	7	9	—	—	1	7	1	7	
平成17年度	213	1	2	24	186	—	24	—	8	16	—	—	2	9	5	8	
盲学校	3	—	—	1	2	—	1	—	1	—	—	—	—	1	—	—	
ろう学校	4	—	1	2	1	—	2	—	2	—	—	—	—	2	—	—	
養護学校	206	1	1	21	183	—	21	—	5	16	—	—	2	6	5	8	

注) 1 この表は，前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 専門的従事者とは，専門的技術的職業従事者をいう。

3 労務作業等とは，生産工程作業等及び労務作業者をいう。

## IV 不就学学齡児童生徒調査

### 1 就学免除者数及び就学猶予者数

学齡児童生徒のうち、就学を免除された者は22人（男子11人、女子11人）、就学を猶予された者は3人（男子1人、女子2人）である。（表39）

### 2 学齡児童生徒死亡者数

平成16年度間に死亡した学齡児童生徒は21人（男子14人、女子7人）である。（表40）

表39 不就学学齡児童生徒数

（単位：人）

区 分	総 数			就 学 免 除 者			就 学 猶 予 者		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
昭和 40 年度	483	260	223	226	119	107	257	141	116
50	249	147	102	121	69	52	128	78	50
60	6	6	—	—	—	—	6	6	—
平成 7	16	6	10	11	4	7	5	2	3
8	11	5	6	7	3	4	4	2	2
9	15	10	5	7	4	3	8	6	2
10	12	9	3	5	4	1	7	5	2
11	18	12	6	5	3	2	13	9	4
12	10	5	5	5	3	2	5	2	3
13	15	6	9	9	1	8	6	5	1
14	19	10	9	16	7	9	3	3	—
15	19	10	9	16	7	9	3	3	—
16	18	9	9	16	9	7	2	—	2
17	25	12	13	22	11	11	3	1	2

表40 学齡児童生徒死亡者数

（単位：人）

区 分	総 数			6歳～11歳			12歳～14歳		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
昭和 40 年度間	130	84	46	89	56	33	41	28	13
50	72	47	25	49	34	15	23	13	10
60	55	36	19	42	28	14	13	8	5
平成 7	28	14	14	17	9	8	11	5	6
8	20	15	5	12	10	2	8	5	3
9	24	16	8	15	9	6	9	7	2
10	29	20	9	15	12	3	14	8	6
11	25	12	13	16	7	9	9	5	4
12	21	14	7	14	9	5	7	5	2
13	13	12	1	9	8	1	4	4	—
14	9	6	3	5	4	1	4	2	2
15	17	4	13	10	2	8	7	2	5
16	21	14	7	13	7	6	8	7	1

注) 年度間とは4月1日から3月31日までをいう。